

ウエルハウス西宮だより



6月

介護保険負担限度額認定証（居住費・食費の軽減制度） 更新手続きおよび負担限度額変更のお知らせ

介護保険負担限度額認定証の有効期限は7月までとなります。制度の適用を受けるためには**申請が必要**です。更新に該当される方は、市町村より申請書が送付されますので、手続きをお願いいたします。今回から該当される方については各市町村にて新規申請の手続きをしていただき、限度額認定証が発行されましたら当施設にご提示をお願いいたします。

限度額認定証のご提示がない場合は、利用料の軽減ができません。（参考：西宮市提出期限：6月25日）

■当施設で限度額認定が適用されるサービス

○介護老人保健施設 ○（介護予防）短期入所療養介護

■対象者及び利用者負担段階

段階	対象者・資産要件	
第1段階	生活保護受給者	要件なし
	世帯（世帯を分離している配偶者を含む）全員が 市民税非課税である老齢福祉年金受給者	かつ、預貯金等の合計が1,000万円 （夫婦は2,000万円）以下
第2段階	世帯（世帯を分離している配偶者を含む） 全員が市民税非課税	本人の年金収入額+その他の合計 所得金額が年額82.65万円以下
第3段階①		かつ、預貯金等の合計が650万円 （夫婦は1,650万円）以下
第3段階②		本人の年金収入額+その他の合計 所得金額が年額82.65万超120万円以下
		かつ、預貯金等の合計が550万円 （夫婦は1,550万円）以下
第4段階	上記、利用者負担第1段階～第3段階以外の人	本人の年金収入額+その他の合計 所得金額が年額120万円超
		かつ、預貯金等の合計が500万円 （夫婦は1,500万円）以下
第4段階	上記、利用者負担第1段階～第3段階以外の人	
	制度の対象外	

※詳細は住所地の市町村にご確認ください。利用者負担第4段階は軽減措置なし

■1日あたりの負担限度額（第4段階は当施設の場合の金額、太字部分は2026年変更箇所）

段階	施設入所 食費	ショートステイ 食費	多床室 居住費	個室 居住費
第1段階	300円	300円	0円	550円
第2段階	390円	600円	430円	550円
第3段階①	680円	1,030円	430円	1,370円
第3段階②	1,420円	1,360円	430円	1,470円
第4段階	2,000円	2,000円	437円	1,728円

・介護報酬改定により8月から太字部分（第3段階）の負担が増えます。

・限度額認定証が届きましたら、1F受付へご提示ください。

Fax：0798-32-1223 または
コピーを郵送も可

・高齢障害者医療費受給者証をお持ちの方は、6月30日で有効期限が切れます。新しい受給者証が届きましたら上記方法でご提示をお願いいたします。

新しい保険証類が届きましたら、ご提示をお願いいたします。

医療法人協和会 介護老人保健施設ウエルハウス西宮

〒662-0934 西宮市西宮浜4-15-1 電話：0798（32）1113 FAX：0798（32）1223

健康講座

5月16日当施設2階にて健康講座を開催しました。5月は「認知症の予防について」をテーマに認知症看護認定看護師から講義をさせていただきました。印象に残ったこととして「社会とのつながりの大切さ」や「認知症予防と生活習慣の関係がよく分かった」などアンケートにご意見をいただきました。



ウエルカムカフェのお知らせ

日時	6月20日（土）14：45～（予定）
場所	2階 通所リハ室
申込	各階サービスステーションで申込書をご提出ください。（6/18まで）

入所者様とご家族様と一緒にお茶をしていただく機会です。
車いす・歩行器などで移動できる方に限ります。
ご家族様等がお付き添いください。

● 太鼓演奏会 ●



5月9日行事で太鼓の会「ふるさと」様に太鼓の演奏を披露していただきました。

太鼓の大きな音は迫力があり素晴らしく、太鼓を取り合うという演目が力強さもあり、楽しくとてもよかったです。「ふるさと」の歌を全員で歌いました。利用者様も手拍子をしたり「楽しかった」「よかった」と感想をいただきました。

通所リハビリ 制作



送迎中に見かけたバラのアーチを再現したく利用者様と一緒にお花紙と紙コップを使ってバラを制作しました。今後さらに黄色や赤のお花紙を使って増やしていく予定です。

4階 カラオケ

5月22日、4階談話室にてカラオケレクリエーションと誕生日会を開催しました。カラオケレクリエーションでは普段あまり歌われない利用者様も手拍子したり、歌ったりされていて盛りあがりました。



園芸クラブ

植え付け



5月末



5月上旬、利用者様と共に夏野菜の苗をプランターに植え付けました。土に触れながら「沢山、実が成るといいね」と皆様笑顔でお話される様子が見られました。また手際よく植えられる方もおられ、昔の園芸体験を懐かしそうに話してくださいました。作業後は「毎日水やりするわ」とのお声も聞かれ、和やかな季節を感じる時間となりました。